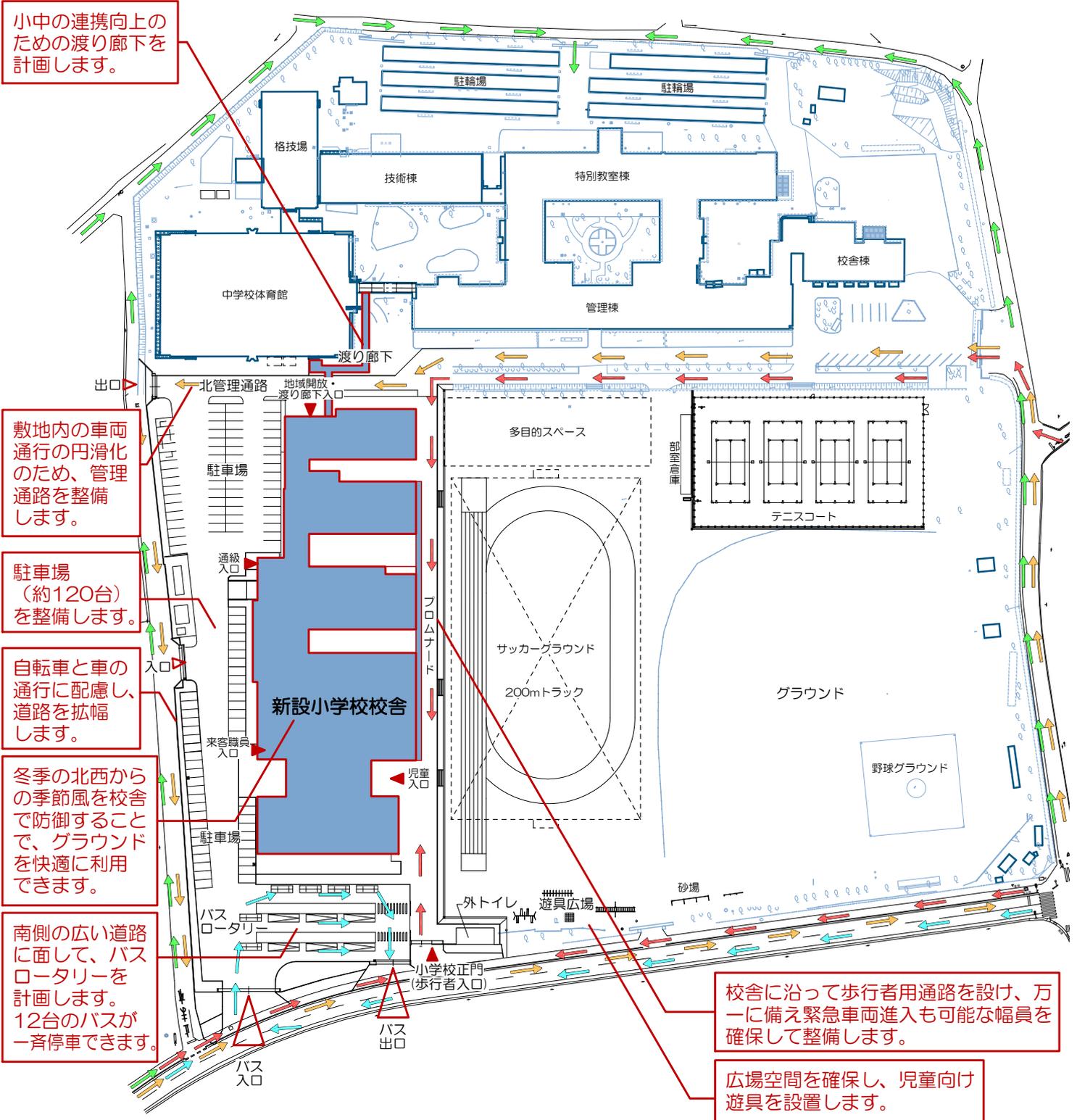


結城市では児童生徒数の減少傾向を背景に結城南中学校区にある5つの小学校（絹川小学校、江川北小学校、江川南小学校、山川小学校、上山川小学校）を統合し、結城南中学校との小中一貫教育を実践するための統合小学校を、本市の学校教育のシンボルとして「すべては将来を担う子どもたちのために」令和10年4月の開校を目指し推進します。

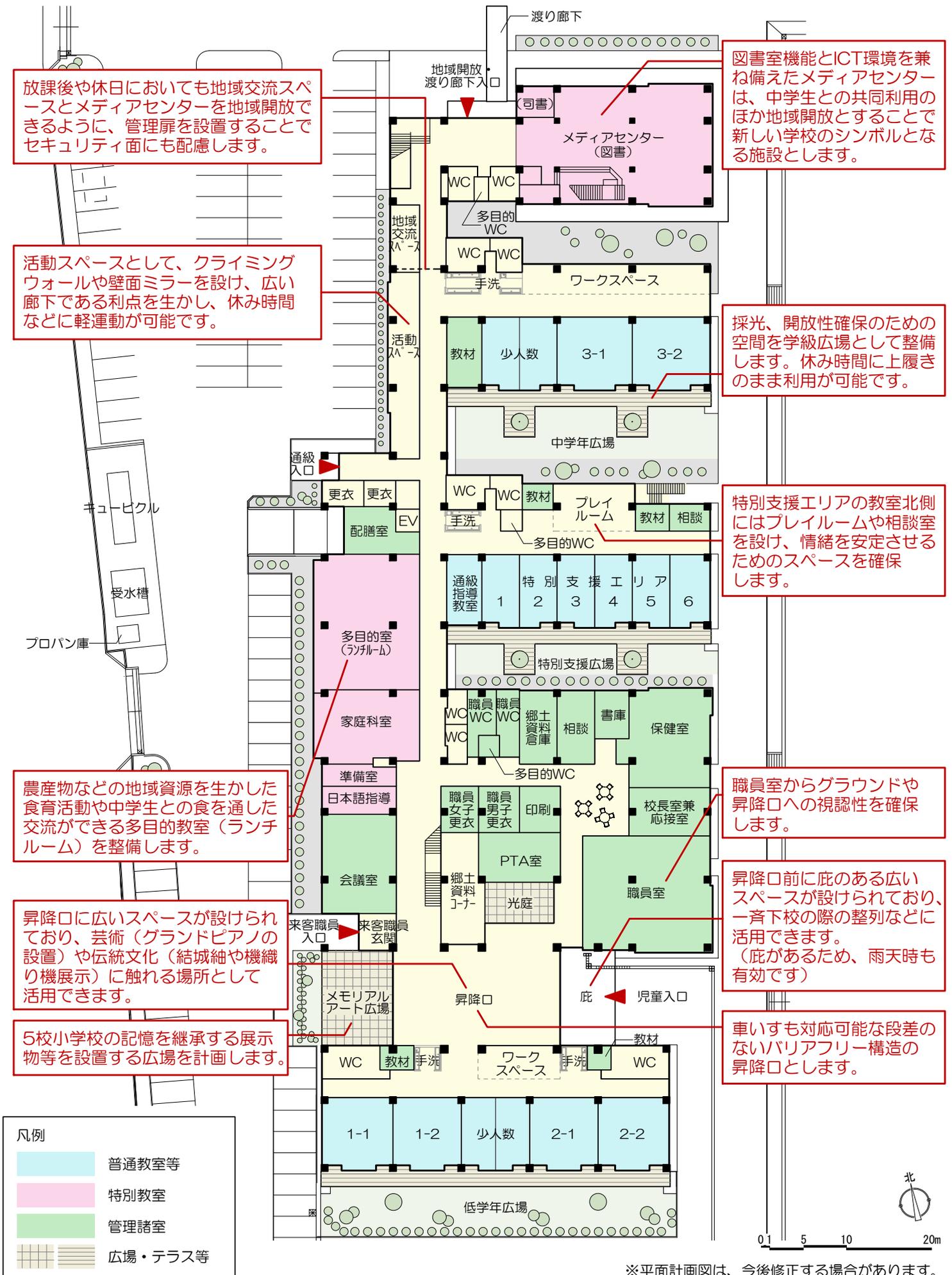
1. 全体配置図



R10年度見込児童数・学級数	児童数 428人 普通教室 14、特別支援教室 6	通学手段別登下校ルート	歩行者	スクールバス
想定面積	想定7,013m ² 程度 ※屋内面積であり法定面積と異なります		自転車	送迎車



2. 平面計画図 [1階]



3. 平面計画図 [2階]

スタジオには児童による動画の撮影や編集が可能な設備を設置し、動画配信コンテンツを活用した情報発信を推進します。
また、ICTルームには高性能PCを設置し「プログラミング学習」などで活用します。



画像元：大阪ガイアエデュケーションHPより

ICTラボの壁面には、北側6m、西側6mの大型スクリーンを設置し、学習発表やプレゼンなどの自己表現型授業にも対応可能とします。
また、他校とのオンライン授業や海外との交流活動などに最適な通信環境を整備します。



画像元：藤内田洋行HPより

給食用コンテナは、エレベーターを使用して運搬し、2階の配膳室に運び入れるため、4・5・6年生は、1階まで食缶等を取りに行く必要がありません。

音楽室と外国語教室との間に位置する発声テラスでは、英語の発音練習や歌唱などを開放的な空間で実施することができます。

外国語に特化した特別教室を整備し、ALTが常駐することで外国の文化や言語を身近に感じ、自然に身につく学習環境を創出します。



画像元：文部科学省資料より

すべての普通教室を南向きとし、南から自然採光が得られるように配慮します。

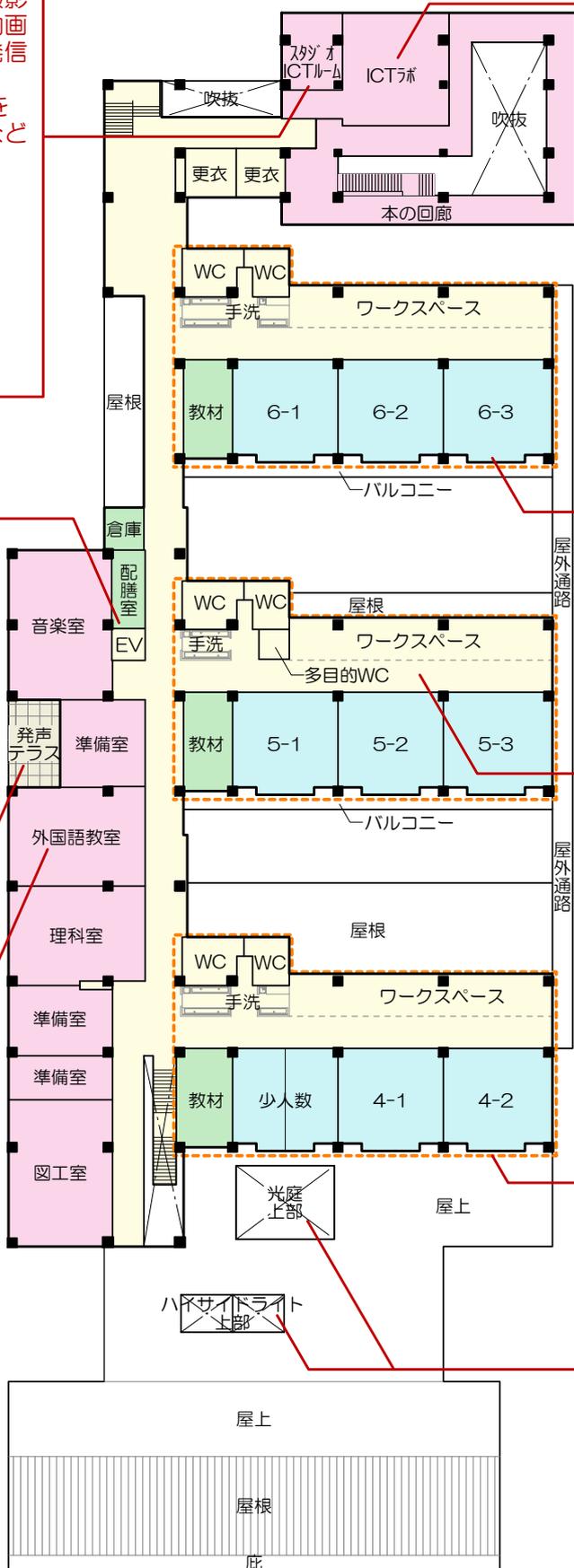
普通教室の廊下側の扉を開放し北側のワークスペースと一体的な空間とすることで、文部科学省が推奨する「個別最適な学び」や、「協働的な学び」を実現します。



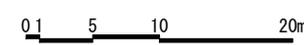
画像元：文部科学省資料より

学年ごとのまとまりを生かしたユニット形の教室配置とします。

光庭やハイサイドライトからの採光により1階の昇降口や職員室前の空間が明るくなります。



凡例	
	普通教室等
	特別教室
	管理諸室
	広場・テラス等



※平面計画図は、今後修正する場合があります。

